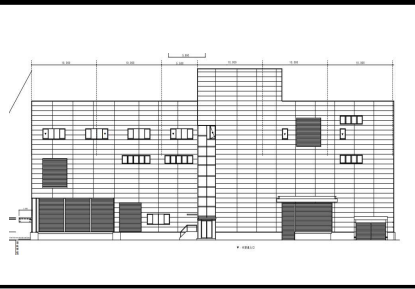


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社フォーラムイフセ様新工場建設PJ新築工事	階数	地上3F
建設地	大和町下鶴間2丁目2821-1、2821-32、2821-34、2820-11、2820-42	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	0人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,968時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2024年1月10日
敷地面積	2,263 m ²	作成者	生和コーポレーション株式会社
建築面積	1,538 m ²	確認日	2024年2月10日
延床面積	4,543 m ²	確認者	生和コーポレーション株式会社



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE= 0.9

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ BEE=1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項

総合	その他
江ノ島線鶴間駅から徒歩13分の工業地域に3階建ての工場を計画した。	特になし
Q1 室内環境 特になし	Q2 サービス性能 階高5.0m以上に計画し、対応性、更新性に配慮している。
Q3 室外環境 (敷地内) 可能な範囲で緑地を計画し、敷地内温熱環境に配慮している。	LR1 エネルギー 設備システムの効率化に配慮し、BEIm=0.7としている。
LR2 資源・マテリアル 躯体以外の材料にリサイクル材を使用している	LR3 敷地外環境 可能な範囲で緑地を計画し、温熱環境悪化の改善に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される